



No.14 September, 2017

関東森林学会ニュースレター

関東森林学会事務局

第7回関東森林学会大会 ごあいさつ

学会長 東京農工大学 土屋 俊幸

関東森林学会会員の皆様におかれましては、研究・教育・業務等でご多忙のことと存じます。この度、行事を担当いただきました神奈川県自然環境保全センターのご尽力により「第7回関東森林学会大会」を来る10月24日（火）に横浜市のかながわ労働プラザを会場に開催する運びとなりました。準備にあたられます担当者の方々に厚くお礼申し上げます。本大会が会員の皆様の有意義な研究交流、活発な意見交換の場となりますことを強く期待しつつ、ごあいさつとさせていただきます。

第7回関東森林学会大会プログラム

開催日 2017年10月24日（火）

会場 かながわ労働プラザ

〒231-0026 横浜市中区寿町1-4 （電話 045-633-5413）

JR 石川町駅 徒歩3分、JR・地下鉄 関内駅徒歩8分

<https://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/l-plaza/>



○日 程 9：00～	大会受付
9：00～9：30	幹事会
9：30～17：00	研究発表
12：20～13：00	総会
13：00～14：00	公開講演会 「丹沢再生と水源かん養機能の高い森林づくり」 石川芳治（東京農工大学名誉教授）
17：30～19：00	懇親会 9F レストラン味彩

○発表会場と発表部門

※発表会場と発表部門は次頁会場案内図をご参照ください。

※各発表部門の時間割は、発表プログラムでご確認ください。

※昼食は施設内外のレストランがご利用いただけます。

○ 研究発表に関する注意点

1. 今回は要旨集を当日参加者以外配布しません。各自関東森林学会 HP (<http://www.kantoforest.jp/>)にアクセスの上、印刷ご持参願います。
2. 研究発表の座長は輪番制です。プログラムでご確認ください。
3. 配布資料がある場合は、各自必要数をご持参ください。
4. 各会場に液晶プロジェクターを用意します。OHP は用意しませんのでご注意ください。
なお、本大会では windows7 に PowerPoint2010 をインストールしたパソコンを使用します。事前に動作確認をしていただくようお願いいたします。
5. 液晶プロジェクターを使用される方は、午前の発表の方は開始まで（9時30分または9時45分、C会場のみ10時45分）に、午後の発表の方は14時15分までにファイルを保存したUSBメモリーを発表会場の担当者へお渡しください。
6. 発表時間12分、質疑応答3分の計15分、時間厳守で各講演を進めてください。

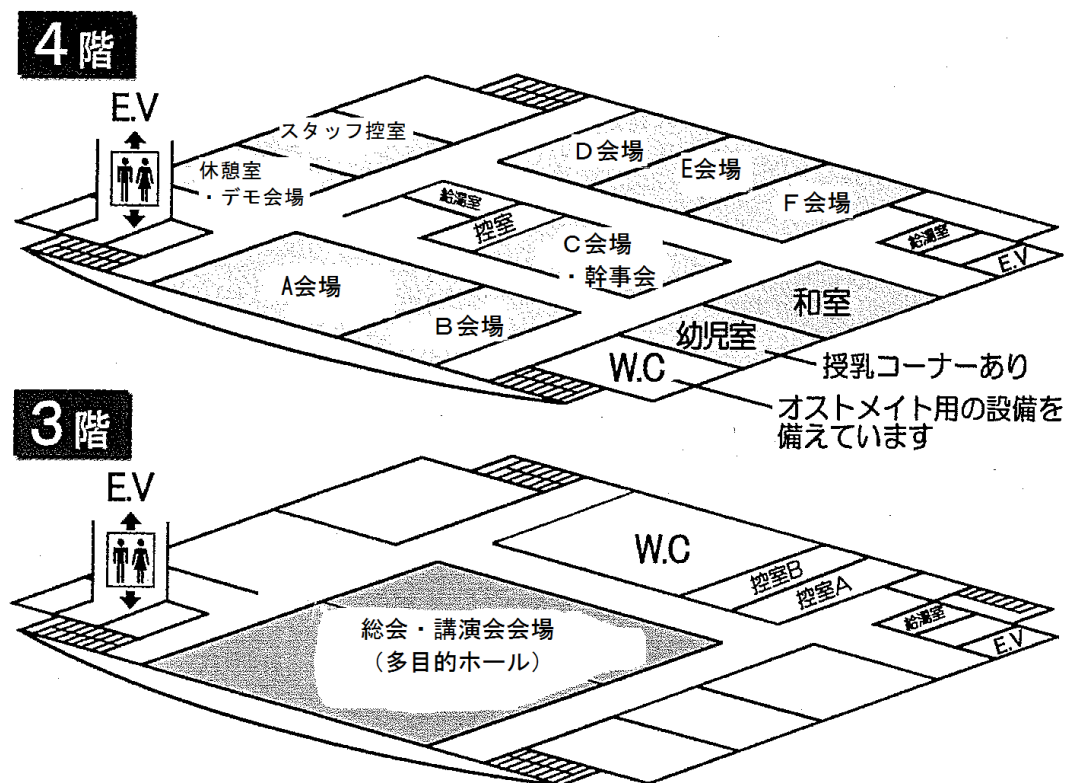
第7回関東森林学会大会 会場位置図

かながわ労働プラザ 会場一覧表

会場	階	場所	午前	午後
総会・講演会	3階	多目的ホール		総会・講演会
A 72名	4階	第3会議室	造林	造林
B 30名	4階	第4会議室	育種	育種
C 30名	4階	第11会議室	幹事会/経営	経営
D 30名	4階	第5会議室	動物	特用林産・樹病
E 30名	4階	第6会議室	防災	利用 林産
F 30名	4階	第7会議室	立地	林政・風致
G 18名	4階	第8会議室	休憩室/デモ室	休憩室/デモ室
18名	4階	第9会議室	幹事・事務局	幹事・事務局

研究発表時間 9:30~12:00、14:30~17:00

・懇親会 9階 レストラン味彩 17:30 ~ 19:00



発表プログラム

午前

時間	A会場（第3会議室）				B会場（第4会議室）				C会場（第11会議室）			
	番号	題 目	講演者	座長	番号	題 目	講演者	座長	番号	題 目	講演者	座長
9：45～10：00	造林				育種							
	1	滞水環境下に植栽されたチークの成長特性	香山雅純 (国際農研)	淵上	31	事業化に向けたカラマツ増殖技術の開発	中村 博一 (群馬県林試)	磯田				
10：00～10：15	2	半島マレーシアの6地点に植栽されたチークの成長と材密度	米田令仁 (森林総研四国)	香山	32	スギ秋挿し苗の挿し付け方法と時期・育苗方法の検討	戸塚聡子 (新潟県森林研)	中村				
10：15～10：30	3	アカギに対する伐倒および薬剤処理の組み合わせ	伊藤武治 (森林総研四国)	米田	33	ヒメコマツにおけるさし穂サイズと発根及び冬芽の関係	軽込 勉 (東大千葉演)	戸塚				
10：30～10：45	4	ヒノキ、サワラ葉条からの多芽体誘導と植物体再生	細井佳久 (森林総研)	伊藤	34	新潟県産無花粉スギ種子からの不定胚形成細胞誘導の家系間差	丸山E.毅 (森林総研)	軽込				
10：45～11：00	5	ヒノキ人工林伐採後の広葉樹植栽地における外生菌根菌埋土胞子の探索	田中 恵 (東京農大)	細井	35	マツの接ぎ木におけるビニールハウスの光環境が活着率に及ぼす影響	米道 学 (東大千葉演)	丸山	経営			
									20	我が国における林業経営への外部資金投入に対する検討	田中慧吾 (東京農大)	佐藤
11：00～11：15	6	カラマツ人工林内の実生定着における外生菌根菌の影響	石川 陽 (東京農大)	田中	36	野外でのマツノザイセンチュウ接種において接種後の降雨が影響するタイミング	山野邊太郎 (森林総研林育セ)	米道	21	竹材利用からみた放置竹林に対する一考察	吉野 聡 (東京農大)	田中
11：15～11：30	7	北海道トドマツ人工林の土壌中に存在する外生菌根菌の土壌感染源について	小長谷啓介 (森林総研)	石川	37	マツノザイセンチュウ抵抗性アカマツ試験林の千葉県における15年次の生存状況と成長	遠藤良太 (千葉県農林総研森林)	山野	22	樹木油生産のためのアンジェローバ(Carapa guianensis)およびツバキ(Camellia japonica)林経営分析	Fernanda Braga Teixeira (東京農大)	吉野
11：30～11：45	8	異なる樹種の落葉の混合とその分解に関わる菌類群集	淵上 拓朗 (東京農大)	小長谷	38	アカマツ広域産地試験の日立試験地における植栽2成長期目の成長特性	磯田圭哉 (森林総研林育セ)	遠藤	23	東京農業大学アカデミアセンターの木材利用リーフレットの効用	佐藤孝吉 (東京農大)	Fernanda Braga Teixeira

総会：12:20～13:00 多目的ホール

公開講演：13:00～14:00 多目的ホール

午後

時間	A会場（第3会議室）				B会場（第4会議室）				C会場（第11会議室）			
	番号	題 目	講演者	座長	番号	題 目	講演者	座長	番号	題 目	講演者	座長
	造林				育種				経営			
14:15～14:30	9	強風および降水状況の近年の傾向と林分成長量との比較	齊藤 哲 (森林総研)	田波	39	ドロノキの成長における産地間差および個体間差	生方正俊 (森林総研 林育セ)	加藤	24	戦前期の森林計画資料を用いた沖縄本島北部国有林に関する森林情報の取得	宮本 麻子 (森林総研)	野田
14:30～14:45	10	茨城県のスギ人工林における葉の水利用特性の季節変化	井上裕太 (森林総研)	齋藤	40	静岡県におけるコウヨウザンの成長	近藤禎二 (森林総研 林育セ)	生方	25	時系列ランドサットデータを用いた森林被害の把握	齋藤 英樹 (森林総研)	宮本
14:45～15:00	11	茨城県のスギ人工林における樹液流速、幹の収縮および土壌水分の経時変化	荒木眞岳 (森林総研)	井上	41	年輪年代学・材質育種のための新しい成長錐コア自動採取装置	香川 聡 (森林総研)	近藤	26	地上LiDARによる森林調査と精度検証	千葉幸弘 (森林総研)	齋藤
15:00～15:15	12	茨城県のスギ人工林における異なる樹冠部位の光合成活性の評価	北岡 哲 (森林総研)	荒木	42	関東育種基本区において開発した幹重量の大きいヒノキ品種の選抜差	宮下久哉 (森林総研 林育セ)	香川	27	日本のスギ林における最適伐期の地理的分布	西園 朋広 (森林総研)	千葉
15:15～15:30	13	カラマツが植栽されている別荘地におけるカラマツ植栽木の管理	長池卓男 (山梨県森林研)	北岡	43	スギエリートツリーの野外植栽試験－コンテナ苗と裸苗の初期成長の比較－	加藤一隆 (森林総研 林育セ)	宮下	28	さまざまな定義による上層樹高の差違と間伐前後の変化	細田和男 (森林総研)	西園
15:30～15:45	14	ケヤキ若齢人工林の成長と土壌調査	安藤博之 (関東森林管理局)	長池					29	カラマツ林における単木の成長モデリングと成長パターン－長期モニタリングデータによる解析－	高橋正義 (森林総研)	細田
15:45～16:00	15	帯状伐採地および群状伐採地に植栽された落葉広葉樹の成長	田中 格 (山梨県森林研)	安藤					30	タイのチーク人工林に関する多項式を用いた相対幹曲線式の検討	野田 巖 (森林総研)	高橋
16:00～16:15	16	関東南部のサクラ林における下刈り手法の違いが下層植生へ与える影響について	勝木俊雄 (森林総研 多摩)	田中								
16:15～16:30	17	培地への木質バイオマス燃焼灰混合がスギ、ヒノキコンテナ苗の成長と養分状態におよぼす影響	長倉淳子 (森林総研)	勝木								
16:30～16:45	18	月別に植栽したスギ実生コンテナ苗の3成長期後の状況	石田 敏之 (群馬県林試)	長倉								
16:45～17:00	19	埼玉県内に植栽したスギコンテナ苗の初期成長及び育苗技術の検討	田波 健太 (埼玉県寄居森林研)	石田								

懇親会：17:30～19:00 レストラン「味彩」 9階

午前

時間	D会場（第5会議室）				E会場（第6会議室）				F会場（第7会議室）			
	番号	題 目	講演者	座長	番号	題 目	講演者	座長	番号	題 目	講演者	座長
9：30～9：45	動物				防災				立地			
	44	東京都周辺に生息するニホンジカのミトコンドリアDNAを用いた多型解析	畑 尚子 (東京農総研)	草木	60	2016年熊本地震による地すべりおよび崩壊に関する一考察	本田 尚正 (東京農大)	玉乃井	75	水源林施業による光環境の変化が土壌の窒素無機化に及ぼす影響	牧すみれ (東京農大)	清野
9：45～10：00	45	堂平山鳥獣保護区におけるニホンジカ生息密度の季節変化について	森田 厚 (埼玉県寄居林)	畑	61	熊本地震時の山体地震動分布の数値解析的検討	浅野志穂 (森林総研)	本田	76	降雨遮断処理による土壌水分変動が土壌呼吸におよぼす影響－室内培養による根・リター・土壌からのCO2発生速度の温度依存測定	阪田匡司 (森林総研)	牧
10：00～10：15	46	シカ生息密度が低下した東京都奥多摩町多摩川北岸域における再造林の可能性	新井 一司 (東京農総研)	森田	62	樹木が発揮する引き倒し抵抗力の現地試験	岡田康彦 (森林総研)	浅野	77	シイタケ(Lentinula edodes)を植菌した木材の分解呼吸速度と環境ストレスへの応答	柴山 知子 (日大)	阪田
10：15～10：30	47	奥日光地域における凍結対策を施した誘引式くくりわなによるシカの捕獲の試み	高橋安則 (栃木県林セ)	新井	63	海岸林における土壌硬度がクロマツの根系成長に与える影響	青木開太 (日大)	岡田	78	福島県十万山の森林火災発生直後の調査	金子真司 (森林総研)	柴山
10：30～10：45	48	東京大学秩父演習林で撮影された2回のクマ剥ぎ動画について	石橋整司 (東大千葉演)	高橋	64	海岸防災林におけるクロマツの初期成長に及ぼす客土と低密度植栽の影響	小森谷あかね (千葉県農林総研森林)	青木	79	福島第一原発事故で汚染された様々な樹木種の葉内137CsとK濃度の関係	田中憲蔵 (森林総研)	金子
10：45～11：00	49	人工飼料を用いたクビアカツヤカミキリ室内飼育幼虫の発育	浦野忠久 (森林総研)	石橋	65	モンゴル北部の針葉樹林帯における林野火災前後の林冠木の種組成およびバイオマス量の変化推定	松井哲哉 (森林総研)	小森谷	80	コナラ萌芽枝・自生幼齢木及び植栽木幼齢木へのカリウム施用による放射性セシウム吸収抑制効果	福田 研介 (茨城県林セ)	田中
11：00～11：15	50	誘引器に装着した糖酢液の外來種クビアカツヤカミキリ成虫に対する誘引性の検証	中山 雄飛 (日大)	浦野	66	ブナが優占する冷温帯落葉広葉樹林における異なる斜面方位での土壌呼吸の多点観測	高田名津海 (日大)	松井	81	野生きのこの放射性セシウム濃度とその子実体近傍の土壌の放射性セシウム蓄積量	小川周太 (日大)	福田
11：15～11：30	51	東京都あきる野市におけるサクラ等の外來害虫クビアカツヤカミキリ (Aromia bungii)のフェロモンを用いた誘引試験の結果	所 雅彦 (森林総研)	中山	67	冷温帯落葉広葉樹林における熱収支と風向の関連性	岡川光流 (日大)	高田	82	菌床露地栽培ハタケシメジの2年間の子実体放射性セシウム濃度	山口 晶子 (茨城県林技セ)	小川
11：30～11：45	52	一次性広食性種ゴマダラカミキリにおける草本発生個体の成虫配偶定位と寄主成分利用の特異性	草木 昇 (日大)	所	68	フロート式自記水位計と水位センサー・データロガーによる観測値の差	玉井幸治 (森林総研)	岡川	83	野生山菜の放射性セシウム濃度：福島第一原発事故後の経年的トレンド	清野嘉之 (森林総研)	山口
11：45～12：00					69	多雪域森林流域における溶存イオンの流出過程の2流域比較	玉乃井梓 (日大)	玉井				

総会：12:20～13:00 多目的ホール

公開講演：13:00～14:00 多目的ホール

午後

時間	D会場（第5会議室）				E会場（第6会議室）				F会場（第7会議室）			
	番号	題 目	講演者	座長	番号	題 目	講演者	座長	番号	題 目	講演者	座長
14：15～14：30	特用林産・樹病				利用				林政・風致			
	53	昆虫病原性線虫による フタマタナガマドキノ コバエ幼虫の防除	北島 博 (森林総研)	小川	70	横積式フォワーダによ る長尺材集材作業の生 産性	吉田智佳史 (森林総研)	吉岡	84	鹿児島県薩摩半島にお けるツゲ材生産と加工 の現状	田中 亘 (森林総研)	大石
14：30～14：45	54	内部捕食寄生性ハエヒ メバチは菌床シイタケ 害虫ナガマドキノコバ エの有用な天敵となり うるか？	向井裕美 (森林総研)	北島	71	栃木県鹿沼市私有林作 業道における崩壊被害 の調査票を用いた分析	有賀一広 (宇都宮大)	吉田	85	松くい虫被害木のバイ オマス燃料利用の可能 性と課題	大塚生美 (森林総研 東北)	田中
14：45～15：00	55	マイタケ露地栽培環境 下における防虫網と除 草を組み合わせたキノ コバエ防除について	富田莉奈 (茨城県林 技セ)	向井	72	未利用森林バイオマスの破 砕作業の生産性を最適化す る土場残材の大きさーグ ラッブルローダとグライン ダを組み合わせた破砕作業 のモデル化による検討	吉岡 拓如 (日大)	有賀	86	地域のインフラストラ クチャーの管理問題 （渡良瀬遊水池を事例 に）	劉 妍 (東大)	大塚
15：00～15：15	56	栄養剤添加によるマツ タケ菌根苗生育改善効 果	小林久泰 (茨城県林 技セ)	富田	休憩				87	林業地域高校における 森林・林業教育の変化 ー京都府立北桑田高校 を事例にー	林 宇一 (宇都宮大)	劉
15：15～15：30	休憩				林産				88	森林教育に関する教員 研修における参加者の ニーズと意識の変化 ー2017年度東京都の研 修（竹細工/造形ワーク ショップ）の事例から	田中千賀子 (武蔵野美 大)	林
15：30～15：45	57	カラマツ木酢液の抗菌 作用	上原 蔵 (東京農大)	小林	74	木材乾燥スケジュール 簡易決定法による国産 広葉樹の人工乾燥温度 特性	齋藤周逸 (森林総研)	寺尾	89	東京都による木育活動 の支援事業の展開にみ る学校教育との関わり	井上真理子 (森林総研 多摩)	田中
15：45～16：00	58	サンブスギに強制他殖した スギ実生林分から採穂され たクローン苗へのチャアナ タケモドキ菌 (Fomitiporia torreyae) の接種試験満腐れの発現	塚越剛史 (東大千葉 演)	上原					休憩			
16：00～16：15	59	環境条件の異なるオオ シマザクラの葉内生菌 類の比較	小川映瑠香 (日大)	塚越					90	身近な自然環境を利用 した「森林散策カウン セリング」の実践と課 題	竹内 啓恵 (東京農大)	井上
16：15～16：30									91	川名里山レンジャー隊に環 境教育プログラムの実施を 依頼する担当者の意識-神 奈川県藤沢市川名緑地の保 全を目的とした団体の活動	早川 尚吾 (日大)	竹内
16：30～16：45									92	緑地保全を目的とした 横浜市民の森の制度の 仕組みと実態	杉浦克明 (日大)	早川
16：45～17：00									93	森林体験活動の構造類 型ー15事例の内容分析 に基づく試案の提示ー	大石 康彦 (森林総研 多摩)	杉浦

懇親会：17:30～19:00 レストラン「味彩」9階

○「関東森林研究」第 69 巻への投稿論文原稿の募集について

関東森林研究は原則として大会において発表された論文を対象に編集します（編集委員会運営規則第 3 条）。第 7 回関東森林学会大会で研究発表される方は、発表内容を論文または速報として投稿することができます。

投稿を希望される方は、下記により、投稿原稿等の必要書類を編集委員会に提出してください。投稿原稿の提出は郵送で 11 月 6 日（月）必着とします。なお、大会会場での原稿受付は行いませんのでご注意ください。

（１）原稿の投稿

提出物：①記入済みの投稿連絡票 1 部

②論文原稿：原本 1 部、コピー 2 部

または

速報原稿：原本 1 部、コピー 1 部

③英文原稿の場合、英文校閲済の証明書

提出先：〒308-8687 茨城県つくば市松の里 1

（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所

関東森林学会 編集委員会

TEL：029-829-8213 FAX：029-874-3720

なお、投稿に関するお問い合わせは、下記宛てメールでお願いします。

E-mail：kantoedit@ffpri.affrc.go.jp

（２）原稿作成上の注意

原稿作成に際しては、関東森林学会ホームページ（<http://www.kantoforest.jp/>）の投稿規定および執筆要領にしたがい、提出前に投稿チェック表で確実に確認した上で提出して下さい。

①投稿規程（2014 年 6 月 6 日改定）

②執筆要領（2014 年 6 月 6 日改定）

③投稿連絡票（第 69 巻用）

④投稿チェック表

審査は「関東森林研究」投稿原稿審査要領にしたがって行います。投稿規定、執筆要領を満たしていない原稿は受け付けませんのでご注意ください。

関東森林学会第7期事務局

学会長：土屋俊幸（東京農工大学）
学会副会長・表彰担当理事：坪山良夫（森林総合研究所）
総務担当理事：白木克繁（東京農工大学）
会計担当理事：松本 武（東京農工大学）
行事担当理事：斎藤央嗣（神奈川県自然環境保全センター）
編集担当理事：千葉幸弘（森林総合研究所）

連絡先 〒183-8509

東京都府中市幸町 3-5-8

東京農工大学農学部 地域生態システム学科 白木克繁

TEL：042-367-5750 FAX：042-364-7812 e-mail：shirakik@cc.tuat.ac.jp

振込口座 みずほ銀行 府中支店（店番号128）

普通預金口座 1664731

口座名義：関東森林学会（カントウシンリンガッカイ）

入退会の連絡は、会計担当の松本（tmatsu@cc.tuat.ac.jp）にお願いします。